

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年10月28日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ショーワ

コード番号 7274 URL <http://www.showa1.com>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 北條 陽一

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 真野 洋介 TEL 048-554-1151

四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日 配当支払開始予定日 平成26年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	131,674	△4.7	7,845	△27.5	8,768	△21.0	3,772	223.4
26年3月期第2四半期	138,167	14.2	10,815	47.1	11,104	49.9	1,166	△76.2

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 9,386百万円 (4.0%) 26年3月期第2四半期 9,028百万円 (59.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	49.66	—
26年3月期第2四半期	15.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	187,827	115,704	54.3	1,342.41
26年3月期	179,417	103,006	49.8	1,176.28

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 101,978百万円 26年3月期 89,358百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	14.00	—	14.00	28.00
27年3月期	—	18.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	268,000	△1.8	17,800	△11.9	19,000	△11.7	9,300	35.6	122.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

連結業績予想の修正については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期2Q	76,020,019株	26年3月期	76,020,019株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	53,542株	26年3月期	53,388株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期2Q	75,966,566株	26年3月期2Q	75,966,903株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算説明会資料の入手方法について）

平成26年10月29日開催予定の決算説明会で使用する決算説明会資料は、T D n e t および当社ホームページのIR情報をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 連結子会社の事業年度等に関する事項の変更	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年9月30日までの6ヶ月間）の売上高につきましては、二輪車用製品、四輪車用製品およびステアリング製品の販売が減少し、1,316億7千4百万円（前年同四半期比 4.7%減）となりました。また、利益につきましては、売上変動構成変化、労務費および研究開発費の増加などにより、営業利益は78億4千5百万円（前年同四半期比 27.5%減）、経常利益は87億6千8百万円（前年同四半期比 21.0%減）、四半期純利益は37億7千2百万円（前年同四半期比 223.4%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

なお、当社グループは、第1四半期連結会計期間より、セグメント売上高及びセグメント利益の算定方法を変更しています。以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後の算定方法で組み替えた数値を表示しています。

<二輪・汎用事業>

二輪車用製品の販売は前年同四半期に比べ、日本および北米における販売の増加はあったものの、ブラジルにおける販売の減少により、全体では減少しました。

二輪・汎用事業の売上高は、397億2千8百万円（前年同四半期比 2.9%減）となり、営業利益は、39億8千9百万円（前年同四半期比 12.7%減）となりました。

<四輪事業>

四輪車用製品の販売は前年同四半期に比べ、主に北米およびアジアにおける販売の減少により、全体で減少しました。

四輪事業の売上高は、471億5千5百万円（前年同四半期比 2.3%減）となり、営業利益は、20億6千5百万円（前年同四半期比 36.6%減）となりました。

<ステアリング事業>

ステアリング製品の販売は前年同四半期に比べ、主に日本における販売の減少により、全体で減少しました。

ステアリング事業の売上高は、376億9千9百万円（前年同四半期比 10.3%減）となり、営業利益は、16億2千3百万円（前年同四半期比 40.9%減）となりました。

<ガススプリング事業>

ガススプリング製品の販売は前年同四半期に比べ、主に日本における販売の減少により、全体で減少しました。

ガススプリング事業の売上高は、14億1千5百万円（前年同四半期比 1.7%減）となり、営業損失は、1億3千5百万円（前年同四半期は営業損失8千7百万円）となりました。

その他

その他の売上高は、56億7千4百万円（前年同四半期比 2.5%増）となり、営業利益は、3億2百万円（前年同四半期比 7.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、1,878億2千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ84億9百万円増加しました。各項目別の主な要因は次のとおりです。

<流動資産>

流動資産は998億4千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ38億2百万円増加しました。これは主に受取手形及び売掛金の増加によるものです。

<固定資産>

固定資産は879億8千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ46億7百万円増加しました。これは主に有形固定資産および投資有価証券の増加によるものです。

<流動負債>

流動負債は584億5千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ27億1千4百万円減少しました。これは主に未払金及び未払費用の減少によるものです。

<固定負債>

固定負債は136億6千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億7千3百万円減少しました。これは主に退職給付に係る負債の減少によるものです。

<純資産>

純資産は1,157億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ126億9千7百万円増加しました。これは主に利益剰余金の増加によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は、233億8千4百万円となり前連結会計年度末に比べ14億9百万円減少しました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

営業活動により得られた資金は、62億7千8百万円となり、前年同四半期に比べ62億7百万円減少しました。これは主に製品保証引当金の減少および特別退職金の支払額の増加によるものです。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

投資活動により使用した資金は、70億5千7百万円となり、前年同四半期に比べ29億3千4百万円増加しました。これは主に有形固定資産の取得による支出の増加によるものです。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

財務活動により使用した資金は、31億2百万円となり、前年同四半期に比べ40億6千4百万円減少しました。これは主に短期借入金の純増減額の増加によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期(平成26年4月1日から平成27年3月31日までの12ヶ月間)の連結業績予想につきましては、二輪車用製品および四輪車用製品の販売の減少による影響などが懸念されるため、平成26年7月29日に公表いたしました連結業績予想を以下のとおり修正しています。

平成27年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 271,000	百万円 19,000	百万円 20,000	百万円 10,400	円 銭 136.90
今回修正予想(B)	268,000	17,800	19,000	9,300	122.42
増減額(B-A)	△3,000	△1,200	△1,000	△1,100	
増減率(%)	△1.1	△6.3	△5.0	△10.6	
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期通期)	272,794	20,207	21,521	6,860	90.32

為替レートは、通期平均で、1米ドル=105円、1人民元=17.1円を前提にしています。

なお、中間配当につきましては、長期的な視点に立ち、今後の事業展開と連結業績などを総合的に勘案し、株主の皆様のご支援にお応えするべく、1株につき18円とさせていただきます。

また、当期の期末配当予想につきましては、1株につき18円とさせて頂く予定です。これにより、当期の年間配当金は1株につき36円となり、前期から8円の増配を予定しています。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を、従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく決定方法から、各制度ごとに支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しています。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しています。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が2,609百万円減少し、利益剰余金が2,721百万円増加しています。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響額は軽微です。

(4) 連結子会社の事業年度等に関する事項の変更

従来、連結財務諸表の作成にあたり、連結子会社12社及び持分法適用関連会社3社については、12月31日現在の財務諸表または仮決算による財務諸表を使用していましたが、当連結会計年度より、3月31日現在の財務諸表または仮決算による財務諸表を使用する方法に変更しています。これにより、すべての連結子会社及び持分法適用関連会社の四半期財務諸表は、当第2四半期連結会計期間の四半期連結決算日現在のものを使用しています。この変更に伴う平成26年1月1日から平成26年3月31日の3ヵ月間の損益は、利益剰余金の増減として調整しています。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,466	22,011
受取手形及び売掛金	32,753	35,943
有価証券	2,000	—
商品及び製品	6,742	6,769
仕掛品	4,174	4,170
原材料及び貯蔵品	18,436	19,871
その他	10,540	11,101
貸倒引当金	△73	△25
流動資産合計	96,039	99,842
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	17,369	17,588
機械装置及び運搬具(純額)	27,839	28,881
その他(純額)	19,622	20,877
有形固定資産合計	64,831	67,347
無形固定資産		
のれん	2,556	2,519
その他	262	394
無形固定資産合計	2,819	2,914
投資その他の資産		
投資有価証券	10,548	11,891
その他	5,217	5,870
貸倒引当金	△38	△38
投資その他の資産合計	15,727	17,723
固定資産合計	83,377	87,985
資産合計	179,417	187,827

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,621	28,030
短期借入金	6,470	7,013
未払金及び未払費用	14,656	12,549
未払法人税等	1,357	1,063
製品保証引当金	4,121	4,032
賞与引当金	2,686	2,633
その他	3,253	3,130
流動負債合計	61,168	58,453
固定負債		
長期借入金	1,658	1,621
製品保証引当金	1,027	923
退職給付に係る負債	8,024	5,361
その他	4,532	5,763
固定負債合計	15,242	13,669
負債合計	76,410	72,122
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,698	12,698
資本剰余金	13,455	13,455
利益剰余金	63,399	72,950
自己株式	△54	△54
株主資本合計	89,499	99,051
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,262	4,917
為替換算調整勘定	△3,690	△1,515
退職給付に係る調整累計額	△713	△475
その他の包括利益累計額合計	△141	2,926
少数株主持分	13,648	13,726
純資産合計	103,006	115,704
負債純資産合計	179,417	187,827

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	138,167	131,674
売上原価	113,494	108,458
売上総利益	24,672	23,215
販売費及び一般管理費	13,857	15,370
営業利益	10,815	7,845
営業外収益		
受取利息	297	321
受取配当金	73	82
持分法による投資利益	283	268
為替差益	—	238
その他	171	221
営業外収益合計	825	1,132
営業外費用		
支払利息	169	137
為替差損	318	—
その他	48	72
営業外費用合計	536	209
経常利益	11,104	8,768
特別利益		
固定資産売却益	98	9
特別利益合計	98	9
特別損失		
固定資産売却損	29	37
固定資産廃棄損	63	81
減損損失	525	90
製品保証引当金繰入額	2,670	—
事業所再編費用	3,606	157
特別損失合計	6,896	366
税金等調整前四半期純利益	4,307	8,411
法人税等	1,860	3,135
少数株主損益調整前四半期純利益	2,446	5,276
少数株主利益	1,279	1,503
四半期純利益	1,166	3,772

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,446	5,276
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	488	654
為替換算調整勘定	5,819	3,003
退職給付に係る調整額	△6	215
持分法適用会社に対する持分相当額	279	236
その他の包括利益合計	6,581	4,110
四半期包括利益	9,028	9,386
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,048	7,499
少数株主に係る四半期包括利益	2,979	1,886

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,307	8,411
減価償却費	4,495	4,316
減損損失	525	90
のれん償却額	66	83
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	11	△71
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	2,721	△292
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	313	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	—	△98
受取利息及び受取配当金	△371	△404
支払利息	169	137
為替差損益 (△は益)	63	10
持分法による投資損益 (△は益)	△283	△268
有形固定資産除売却損益 (△は益)	△4	109
売上債権の増減額 (△は増加)	△5,855	2,166
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,372	△914
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,931	△1,115
その他	3,238	559
小計	14,702	12,720
利息及び配当金の受取額	501	623
利息の支払額	△171	△143
特別退職金の支払額	—	△3,679
法人税等の支払額	△2,546	△3,242
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,486	6,278
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△496	△162
定期預金の払戻による収入	1,256	100
有形固定資産の取得による支出	△5,634	△7,466
有形固定資産の売却による収入	98	593
短期投資による収入	620	—
その他	33	△121
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,122	△7,057

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,964	3,697
長期借入れによる収入	303	692
長期借入金の返済による支出	△2,398	△4,101
配当金の支払額	△1,060	△1,062
少数株主への配当金の支払額	△2,018	△2,300
その他	△27	△28
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,166	△3,102
現金及び現金同等物に係る換算差額	554	436
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,751	△3,444
現金及び現金同等物の期首残高	20,691	24,794
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	1,046	—
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	2,034
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,489	23,384

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)2
	二輪・ 汎用事業	四輪事業	ステアリン グ事業	ガススプリ ング事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	40,900	48,276	42,014	1,440	132,631	5,536	138,167	—	138,167
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	40,900	48,276	42,014	1,440	132,631	5,536	138,167	—	138,167
セグメント利益	4,570	3,257	2,748	△87	10,489	325	10,815	—	10,815

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車販売等を含んでいます。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)2
	二輪・ 汎用事業	四輪事業	ステアリン グ事業	ガススプリ ング事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	39,728	47,155	37,699	1,415	125,999	5,674	131,674	—	131,674
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	39,728	47,155	37,699	1,415	125,999	5,674	131,674	—	131,674
セグメント利益	3,989	2,065	1,623	△135	7,542	302	7,845	—	7,845

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車販売等を含んでいます。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(算定方法の変更)

第1四半期連結会計期間より、セグメント売上高及びセグメント利益の算定方法を変更しました。「セグメント間の内部売上高又は振替高」は、報告セグメント内の内部売上高を含めて計上する方法から、報告セグメント内の内部売上高を除いて計上する方法へ変更しています。セグメント利益は、従来、のれんの償却額を除き連結調整前の金額で計上していましたが、連結調整後で計上する方法へ変更しました。

これらは、経営管理の手法の変更に伴い、セグメント別損益の実態をより正確に表示するためです。

この変更に伴い、前年同四半期のセグメント売上高及びセグメント利益についても変更後の算定方法にて組み替えて表示しています。



平成 26 年 10 月 28 日

平成 27 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間

参考資料

(単位:百万円未満切捨て)

	平成26年3月期	平成27年3月期	差異	平成26年3月期	平成27年3月期	差異		
	第2四半期累計実績	第2四半期累計実績		通期実績	通期今回予想			
売上高	138,167	131,674	△ 6,493	272,794	268,000	△ 4,794		
事業別	二輪・汎用事業	ショックアブソーバ	39,500	38,264	△ 1,236	75,242	77,480	2,237
		ボート用製品	1,400	1,463	63	2,991	2,910	△ 81
		計	40,900	39,728	△ 1,172	78,234	80,390	2,155
	四輪事業	ショックアブソーバ	35,783	35,778	△ 5	73,095	73,090	△ 5
		駆動系	12,492	11,377	△ 1,114	24,693	24,010	△ 683
		計	48,276	47,155	△ 1,120	97,789	97,100	△ 689
	ステアリング事業	42,014	37,699	△ 4,314	80,726	74,870	△ 5,856	
	ガススプリング事業	1,440	1,415	△ 24	2,999	2,900	△ 99	
	その他	5,536	5,674	138	13,045	12,740	△ 305	
	営業利益	10,815	7,845	△ 2,970	20,207	17,800	△ 2,407	
事業別	二輪・汎用事業	4,570	3,989	△ 581				
	四輪事業	3,257	2,065	△ 1,192				
	ステアリング事業	2,748	1,623	△ 1,125				
	ガススプリング事業	△ 87	△ 135	△ 48				
	その他	325	302	△ 23				
経常利益	11,104	8,768	△ 2,335	21,521	19,000	△ 2,521		
純利益	1,166	3,772	2,605	6,860	9,300	2,439		
1株当たり純利益	15円36銭	49円66銭	34円30銭	90円32銭	122円42銭	32円10銭		
営業利益増減要因		△ 2,970			△ 2,407			
売上変動構成変化等		△ 1,417			△ 990			
原価低減効果等		484			2,200			
販売費及び一般管理費		△ 428			△ 670			
労務費(ベースアップ影響)		△ 760			△ 1,540			
研究開発費		△ 719			△ 1,730			
為替影響		△ 129			323			
研究開発費	3,979	4,725	746	8,044	9,838	1,793		
設備投資	5,404	6,385	981	12,896	15,770	2,873		
減価償却費	4,495	4,316	△ 178	9,025	9,010	△ 15		
総資産	172,626	187,827	15,201	179,417				
純資産	96,345	115,704	19,359	103,006				

個別業績

	平成27年3月期	平成27年3月期	差異	平成26年3月期
	通期 前回(7/29)予想	通期 今回予想		通期 実績
売上高	103,000	103,000		111,123
営業利益	3,200	3,000		3,341
経常利益	6,900	7,200		10,862
純利益	5,700	5,700		5,257

※1.営業利益増減要因の各増減金額は、前年同期為替レートで換算しており、当期為替レートとの換算差は、「為替影響」に含めています。

2.第1四半期連結会計期間より、セグメント売上高及びセグメント利益の算定方法を変更しています。
なお、前年同四半期及び前期の数値については、変更後の算定方法で組み替えた数値を表示しています。